



# 最先端医療に触れる

医学科5年生の臨床実習

医学科5年生になると、臨床実習が始まる。

本学での臨床実習は、鳥取大学医学部附属病院の全診療科を2週間ずつローテーションで回る。外来、カンファレンス、手術等、その診療科の医療に触れ、そして、1～4年で学んだ基礎知識を臨床へとシフトしながら医療現場を経験。

学生達は、この臨床実習で、何を思い、何を感ずるのだろうか。

8月後半、泌尿器科での臨床実習を見学させてもらうことにした。

初日、シミュレーションセンターでのダヴィンチ操作訓練。初めての3D操作で、感覚をつかむまでは時間がかかったが、いったん感覚をつかむと習得は比較的容易なようだ。これもダヴィンチの特性なのかもしれない。



そして、2日目の外来見学。患者さんの今後の治療計画について、教授からレクチャーを受ける。腎泌尿器学分野の武中教授はこう話す。「各患者さんの治療方針に試験問題のような回答はない。プロとしての知識、技術を持ったうえで、それぞれの患者さんの立場に立って治療方針を考えられる医師になってほしい。」と。

3日目、手術見学。この日、手術室では、4月から保険適用になった腎部分切除の手術が行われていた。学生達は、ダヴィンチ手術を見学するのはこの日が初めて。ダヴィンチ操作、カメラが映し出す3D画像等、遠隔操作で行われる最先端医療の手術現場を目のあたりにした。

同病院では、外科系診療科、職種を横断して組織化された「低侵襲外科センター」にてダヴィンチ手術を行っている。診療科の垣根を取りはらい、横の連携がしっかりと取れているからこそお互いを高め合い、より質の高い手術ができる。地方大学でありながら、都会に行かなくても最先端医療が受けられる「地域完結型の医療」だ。そして、平成27年10月には、ダヴィンチ手術件数が、国立大学で2番目に500症例に達した。

学生達は、この臨床実習で、最先端医療に触れ、将来の自分と重ね合わせ、医学への道を一步、また一步、前に進みだす。



## 大山の魅力

vol.2 連載でお届けします！

米子の街を紹介します！



大山頂上から見た景色



和傘灯

大山は、6月の山開きが行われると、多くの登山客でにぎわう。登山道では、登山する人、下山する人が挨拶を交わしながらすれ違う。そんな光景がとても心地いい。それぞれが自分のペースで2～3時間かけて、頂上を目指す。頂上に着くと、米子市内～日本海の広大な景色が私達を迎えてくれ、なんとも言えない達成感とその景色は、私達に“癒し”を与えてくれる。

お盆の頃、大山寺の参道を和傘が彩る「和傘灯」が開催され、大山寺周辺は、華やかな景色へと変化。参道や境内には、約100本の和傘が色とりどりに並べられ、幻想的な空間が人々を魅了した。

大山には、私達が知らない魅力がまだまだたくさんある。新たな魅力を探しに大山に出かけることにしよう。

# 医学部での研究!

## 医学科 解剖学講座

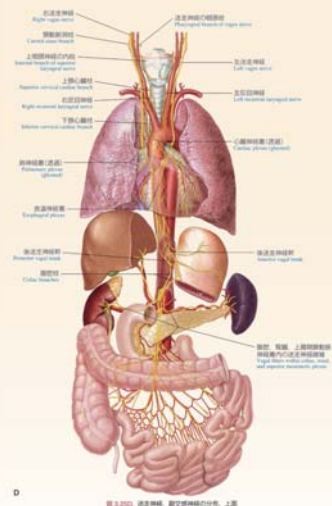


解剖学講座 海藤俊行教授

解剖学講座は、生命の構造と機能についてマクロ（肉眼解剖、古人骨等）からマイクロ・ナノレベル（電子顕微鏡、遺伝子、神経系等）まで広く研究対象としている。

その中でも、肉眼解剖は教育・研究の両面に関わる重要な領域である。医学科生は1年から2年前期にかけて人体の構造を学び、2年後期に解剖学実習を行う。人体の構造を自らの目で確認して臓器や脈管・神経の位置関係を理解することは、医師として患者を診察し、診断・治療を行う上で欠くことができない。

また、ご献体を解剖させていただくことは、医師としての倫理観や責任感を育む貴重な経験でもある。さらに、解剖学実習で発見される注目すべき所見については、学生とともに研究報告を行っており、学生にはぜひ、学会発表や論文作成にも挑戦してほしい。



## 鳥大医学部学生 クイズ大会世界へ!

「国際医学生理学クイズ世界大会」が7月29、30日、インドネシアで開催され、日本大会で優勝した鳥取大学医学部医学科4年生の3人（1チーム）が出場した。

これは、生理学の知識やその運用能力を競い合うもので、日本大会においても筆記試験、早押し問題の全てが英語で出題、英語で回答するというとてもユニークな大会。

夜のレセプションでは、出場者がそれぞれの国の文化を披露する等の交流を行い、貴重な体験となった。

また、この大会で、入賞はできなかったものの、出場したことによって、「チャレンジ力」、「英語力」、「チーム力」と得たものは大きい。いつかその経験がどこかの場面で活かされる時がくるに違いない。



*-Challenge!*



## オープンキャンパス開催!

7月30日（土）、米子キャンパスにて鳥取大学医学部オープンキャンパス2016を開催し、高校生336名、保護者等282名の計618名が参加した。

入学後の学習や医学に興味のある学生たちに、本学の魅力を感じてもらえるよう医学部各学科独自の体験コーナーや院内見学、懇親会等の場を設置し、本学の雰囲気や魅力を感じてもらった。来年、このキャンパス内で再会できることを楽しみにしたい。



## 生協食堂



すっかり涼しくなり秋本番!  
10月は「秋の野菜たっぷりメニュー」。  
バランスよく栄養を取ってもらうため、  
野菜をたくさん使ったメニュー構成。  
写真は、長崎ちゃんぽん!  
いかがですか?



## 潮止め松



新しい2本の松

米子キャンパス付近にある「潮止め松」。

2011年、米子市内を真っ白に染めた約1mの豪雪によって、米子の街は多くの被害を受けた。潮止め松も被害を受けたその一ヶ所である。

「潮止め松」は、約400年前、江戸時代の初め頃に米子城が築城された時代に、中海からの強い潮風から城下を守るために植えられたと言われ、以来、長きにわたり米子の町の変遷を見守り続け、米子市の指定天然記念物にもなっている。

一晩降り続いた雪で被害を受けた潮止め松は、“Save the 潮止め松プロジェクト”によって手当されたものの枯死。現在は、子孫の新しい2本の生命がすくすくと成長している。

そして、「潮止め松」は、新たな歴史を刻み始めた。

## …… 編集後記 ……

医学科5年生の臨床実習。泌尿器科の手術を見学させてもらい、改めて、医師の偉大さを体で感じた。医師がいるから、病気が治り、患者さんやその家族が笑顔になる。そんな笑顔を見ることができると医師という職業、素敵だなと思った。

発行/鳥取大学医学部総務課広報係 K  
〒683-8503 鳥取県米子市西町86  
TEL: 0859-38-7037  
FAX: 0859-38-7029  
E-Mail: me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp